

TORO®

2人用および4人用日よけキット

Workman® GTX 汎用作業車用

モデル番号07921—シリアル番号 400000000 以上

モデル番号07922—シリアル番号 400000000 以上

取り付け要領

取り付け

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. バッテリーの接続を外す; 各マシンのオペレーターズマニュアルを参照。
5. 荷台をダンプ位置まで上げ、支持棒で支える。

2

取り付けチューブ用の穴を開ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 機体の左右のフロアプレートの外側の、図1に示された寸法位置に、直径 8 mm の穴を 1ヶ所開ける。

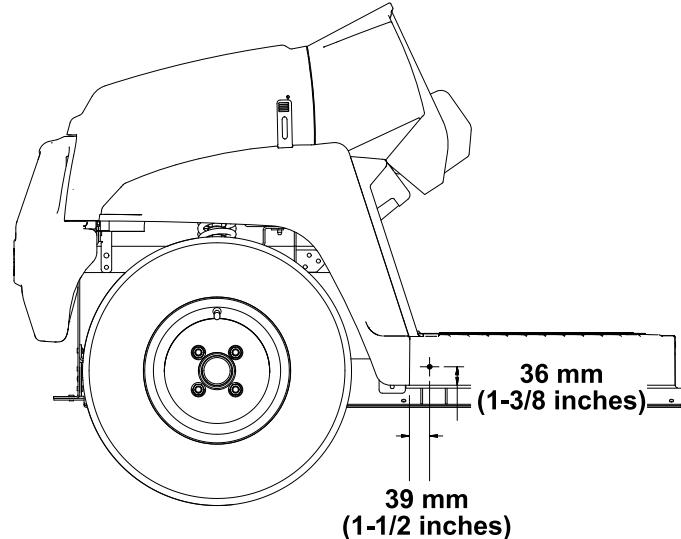


図1

g259750

2. 機体の左右のフットボードの外側の、図2に示された寸法位置に、直径 8 mm の穴を 1ヶ所開ける。

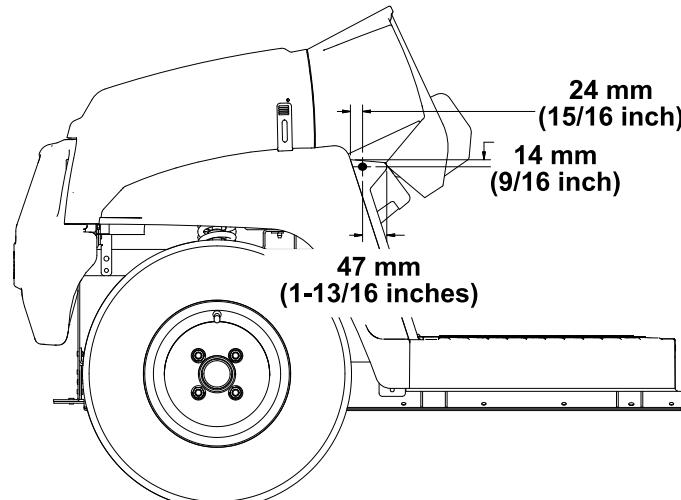


図2

g259751



3

前側取り付けチューブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	前側取り付けチューブ
2	フランジヘッドボルト5/16 x 3"
2	スペーサ $\frac{5}{8}$ x 1"
4	フランジナット(5/16")
2	キャリッジボルト5/16 x 2"

手順

前側取り付けチューブ4本を図3のように仮付けするフランジヘッドボルト5/16 x 3"2本、スペーサ $\frac{5}{8}$ x 1"2個、フランジナット5/16"2個、キャリッジボルト5/16 x 2"を使用する。

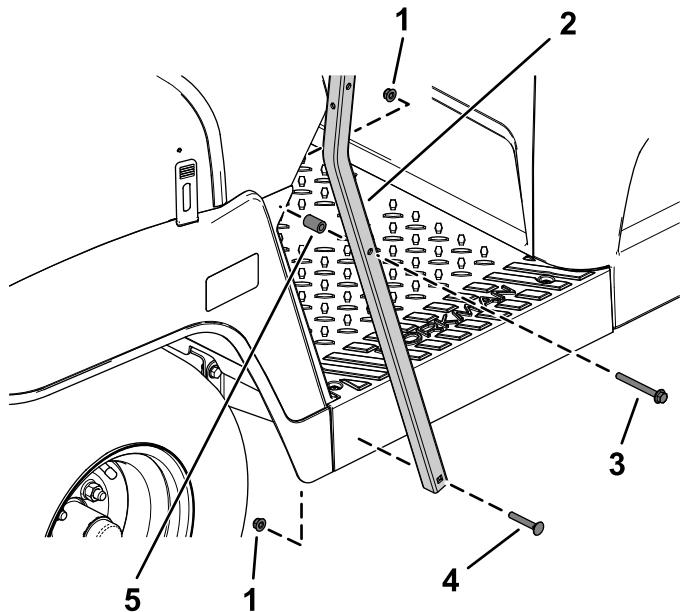


図3
図は左側を示す

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. フランジナット5/16" | 4. キャリッジボルト5/16 x 2" |
| 2. 前側取り付けチューブ | 5. スペーサ $\frac{5}{8}$ x 1" |
| 3. フランジヘッドボルト5/16 x 3" | |

4

サイドパネルを取り外す

必要なパーツはありません。

ガソリン車両の場合

重要取り付け穴を形成済みのものがありますから、事前に確認してください。穴が形成されていない場合には、以下の要領で形成してください。

注 ここで取り外す部品はすべて保管してください。

1. 燃料タンクをタンクトレイに固定しているフランジヘッドボルトを外す図4。

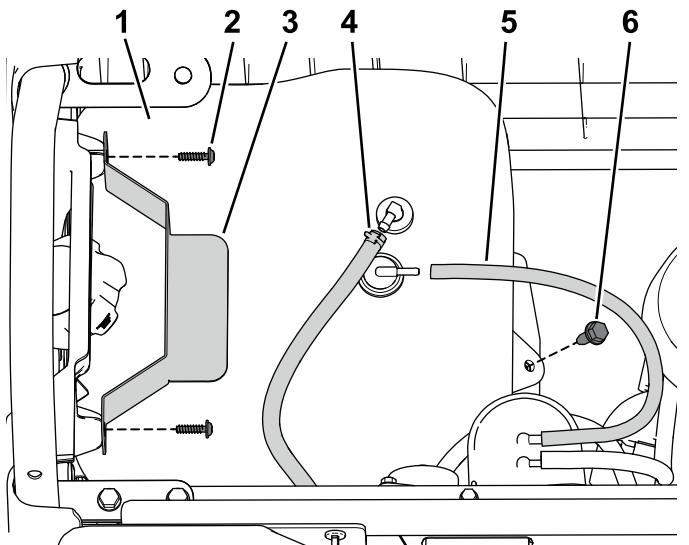


図4

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 燃料タンク | 4. 燃料ライン |
| 2. ねじ | 5. 通気ホース |
| 3. 押さえ棒 | 6. フランジヘッドボルト |

2. 押さえ棒を固定しているねじを外す図4。

3. タンクから通気チューブと燃料ラインを外す図4。

注 タンクから燃料ラインを外す時に燃料が流れ出す可能性がありますから、回収や清掃の準備をしておいてください。

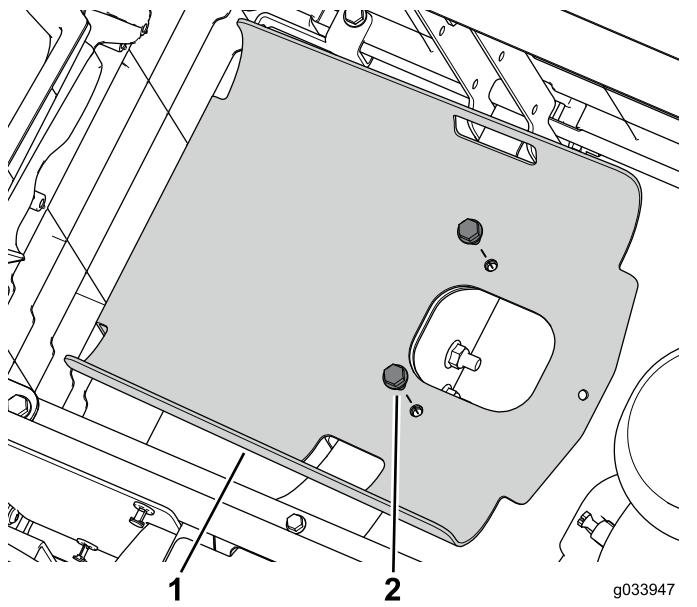
危険

燃料は非常に引火爆発しやすい物質である。発火したり爆発したりすると、やけどや火災などを引き起こす。

- 燃料タンクからの燃料の抜き取りはエンジンが冷えてから行う。この作業は必ず屋外の広い場所で行う。こぼれた燃料はふき取る。
- 燃料の取り扱い中は禁煙を厳守し、火花や炎を絶対に近づけない。

4. トレイから燃料タンクを外す。

5. タンクトレイをフレームに固定しているフランジヘッドボルト2本を取り外す図5。



1. タンクトレイ

図5

2. フランジヘッドボルト

6. 左側パネルを下側座席アセンブリに固定しているねじ4本を外す図6。

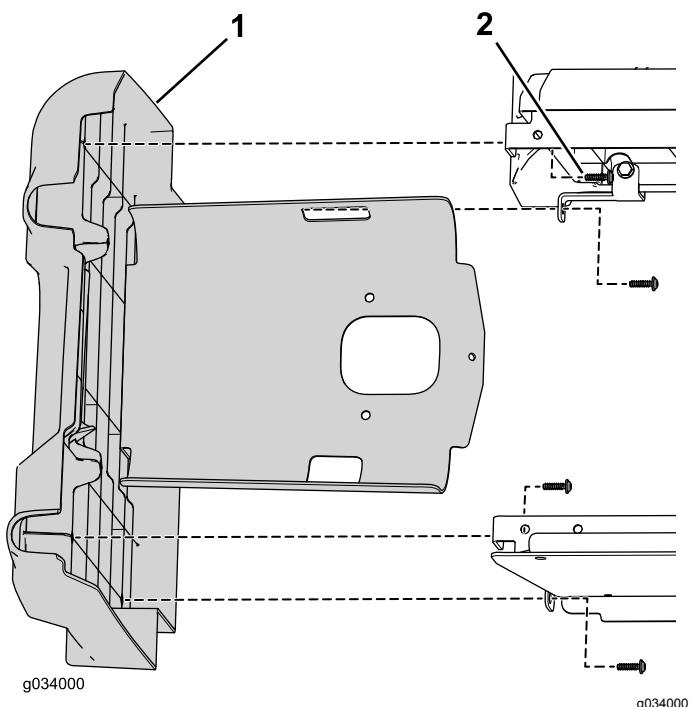


図6

1. 左側パネル

2. ねじ

7. バッテリーから、マイナス-ケーブルを外し、次にプラス+ケーブルを外す図7。

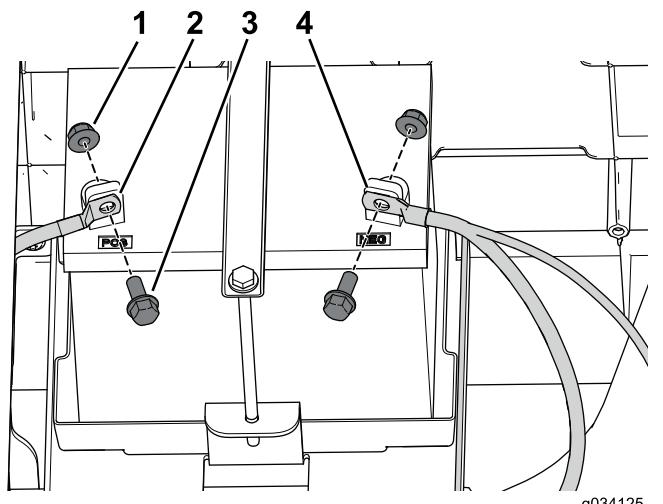


図7

1. ナット

2. プラスケーブル(+)

3. ボルト

4. マイナスケーブル(-)

8. バッテリートレイをフレームに固定しているフランジヘッドボルト2本を取り外す図8。

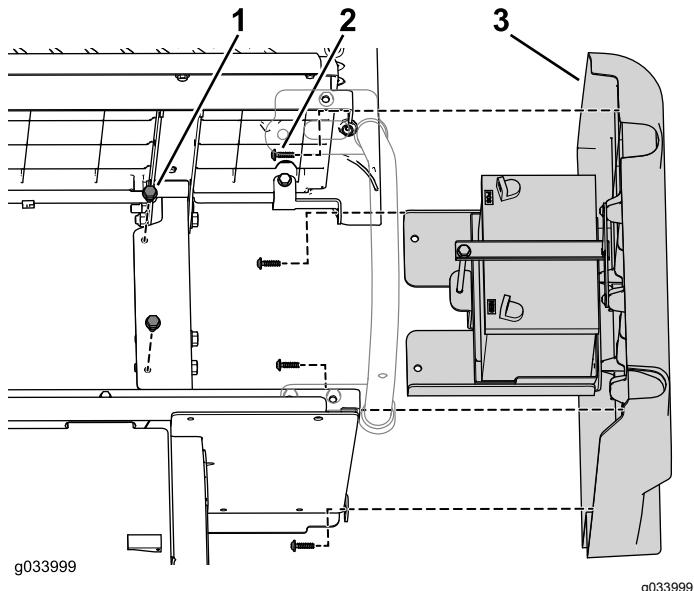


図8

1. フランジヘッドボルト 3. 右側パネル
2. タップねじ

9. 右側パネルを下側座席アセンブリに固定しているねじ4本を外す図8。

電動車両の場合

重要取り付け穴を形成済みのものがありますから、事前に確認してください。穴が形成されていない場合には、以下の要領で形成してください。

注ここで取り外す部品はすべて保管してください。

1. 右側パネルを車両に固定しているタッピングねじ4本を外す図9。

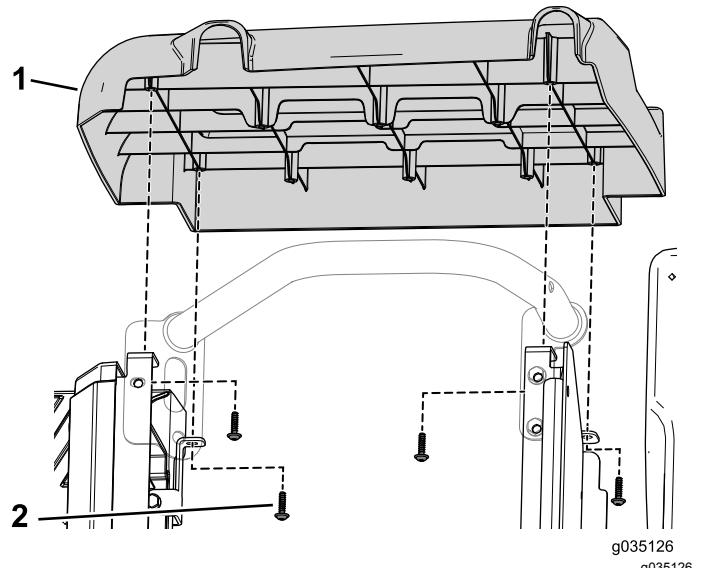


図9

1. 右側パネル 2. タップねじ

2. チャージャブラケットをバッテリートレイに固定しているボルト2本を外す図10。

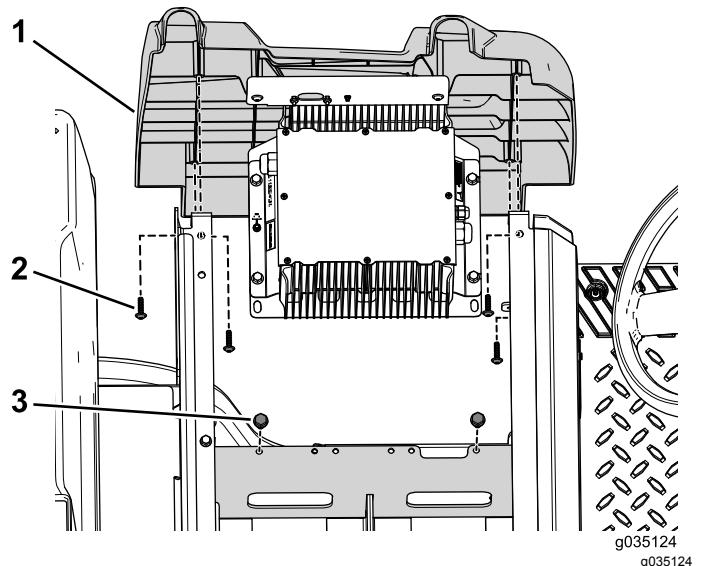


図10

1. 左側パネル 3. ボルト
2. タップねじ

3. 左側パネルを車両に固定しているタッピングねじ4本を外す図10。

5

サポートブラケットに穴を開ける

必要なパーツはありません。

手順

サポートブラケットの 図 11 に示す寸法位置に穴を開ける。

一番高い位置の穴を開けるときには、外側ブラケット、フレームチューブ、ファイアウォールを貫通する穴をさせてください。

▲ 注意

電動車両では、フレーム右側への穴開けの際に注意が必要です。

ドリルを深く入れすぎると、バッテリーなどを傷つける可能性あります。

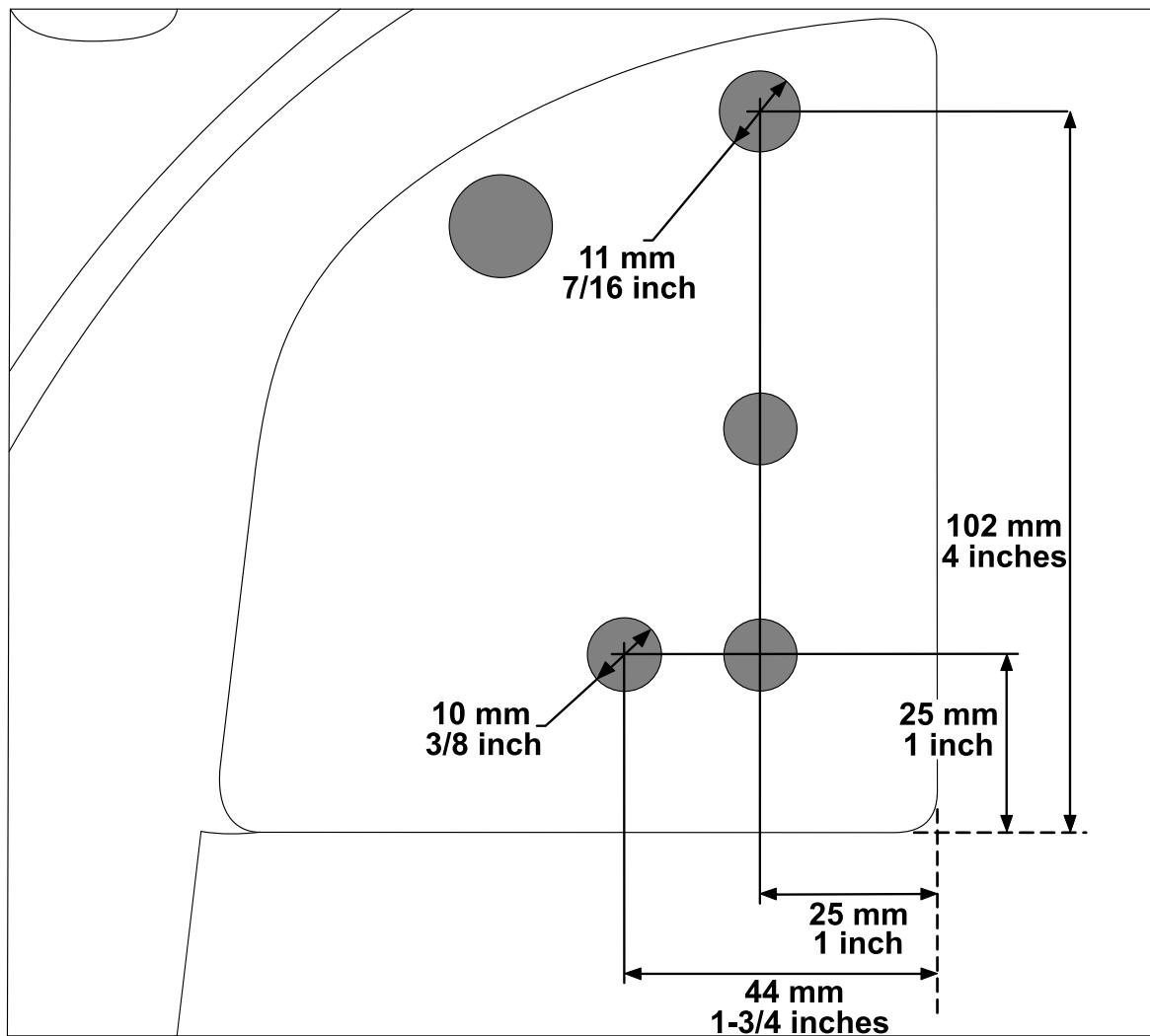


図 11

g260925

6

サイドパネルを取り付ける

必要なパーツはありません。

ガソリン車両の場合

- 右側パネルを固定する先ほど取り外したねじ4本を使用する図8。
- バッテリートレイをフレームに固定する先ほど取り外したフランジヘッドボルト2本を使用する図8。
- バッテリーケーブルを固定する先ほど外したボルト2本とナット2個でバッテリー端子に接続する図7。
- 肥大側パネルを固定する先ほど取り外したねじ4本を使用する図6。
- タンクトレイをフレームに固定する先ほど取り外したフランジヘッドボルト2本を使用する図5。
- タンクトレイに燃料タンクを載せる。
- 燃料タンクに燃料ラインと通気チューブを取り付ける図4。
- 先ほど外したねじで押さえを取り付ける図4。
- 燃料タンクトレイに燃料タンクを固定する先ほど外したフランジヘッドボルトを使用する図4。
- 燃料タンクに燃料を入れるオペレーターズマニュアルを参照。

電動車両の場合

- 左側パネルを固定する先ほど取り外したタップねじ4本を使用する図10。
- チャージャ用ブラケットをバッテリートレイに固定する先ほど取り外したボルト2本を使用する図10。
- 右側パネルを固定する先ほど取り外したタップねじ4本を使用する図9。

7

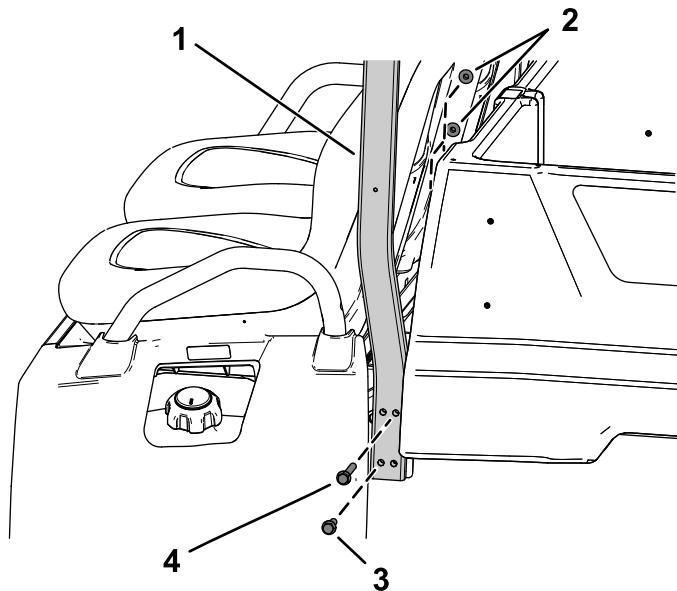
後側取り付けチューブとチューブ取り付けブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	後側取り付けチューブ
1	チューブ取り付けブラケット
2	フランジヘッドボルト5/16 x 3"
2	フランジナット5/16"
2	フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x $1\frac{1}{4}$ "
2	フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x $3\frac{1}{2}$ "
4	ロックナット $\frac{3}{8}$ "
1	トリムシール

手順

- 後側取り付けチューブを仮止めするフランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x $3\frac{1}{2}$ " 2本、フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x $1\frac{1}{4}$ " 2本、ロックナット $\frac{3}{8}$ " 4個を使用して図12のように取り付ける。



g261071

図12
図は左側を示す

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 後側取り付けチューブ | 3. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x $1\frac{1}{4}$ " |
| 2. ロックナット $\frac{3}{8}$ " | 4. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x $3\frac{1}{2}$ " |

2. チューブ取り付けブラケットを後側取り付けチューブに固定するフランジヘッドボルト5/16 x 3" 2本とフランジナット5/16"で図13のように取り付ける。
3. チューブ取り付けブラケットにトリムシールを取り付ける図13。

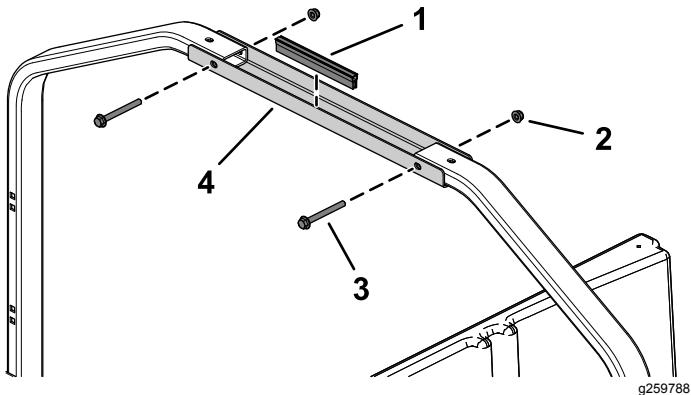


図13

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. トリムシール | 3. フランジヘッドボルト5/16 x 3" |
| 2. フランジナット5/16" | 4. チューブ取り付けブラケット |

-
4. ステップ1で取り付けた固定具を本締めする。
5/16" のボルト・ナットを 20-25 N·m 2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lb にトルク締めする。
3/8" のボルト・ナットを 37-45 N·m 3.7-4.5 kg.m = 27-33 ft-lb にトルク締めする。

8

長い日よけサポートブラケットを取り付ける

4人用の日よけの場合

この作業に必要なパーツ

2	長い日よけサポートブラケット
8	六角ワッシャヘッドボルト5/16 x 3/4"
2	トリムシール

手順

1. 前後の取り付けチューブに、長い日よけサポート用ブラケット2個を取り付ける六角ワッシャヘッドボルト5/16 x 3/4" 8本を使用して図14のように取り付ける。
2. 長い日よけサポート用ブラケット2個に、トリムシール2枚を貼る図14。

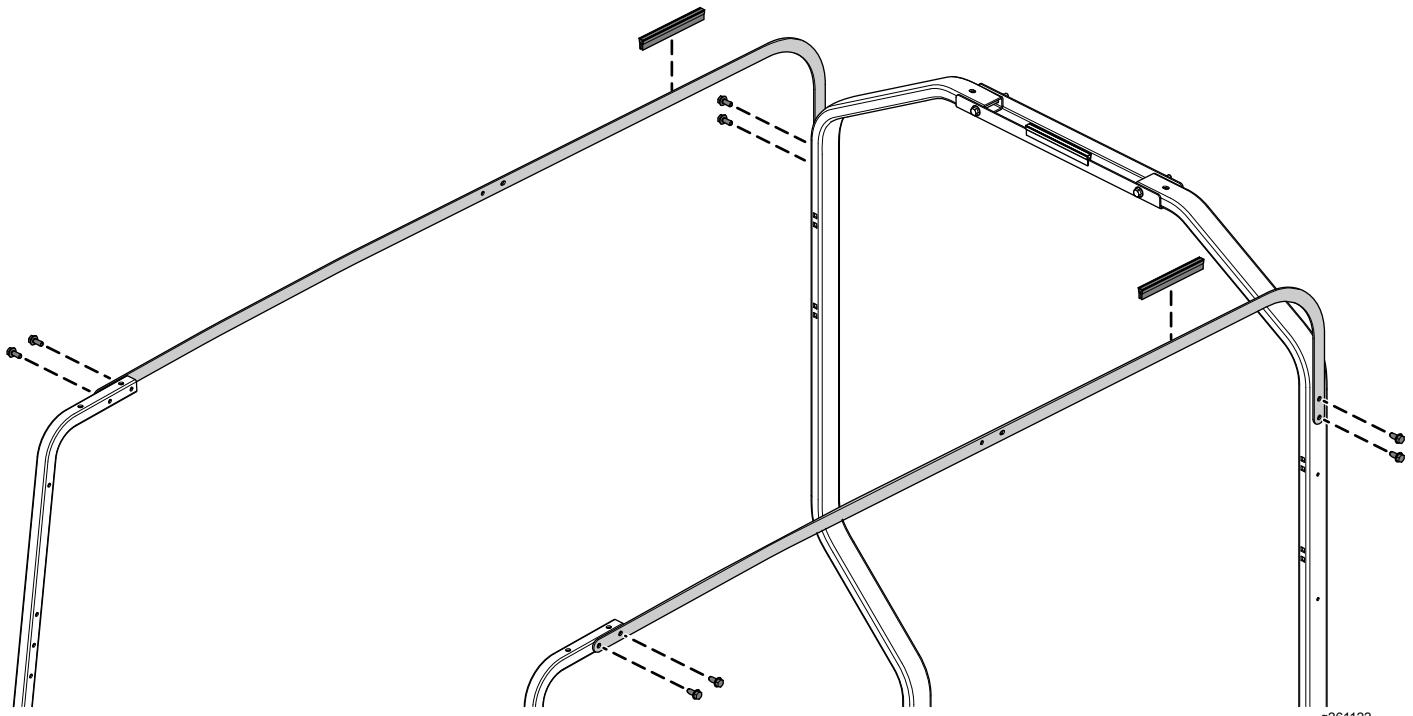


図 14

9

日よけを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	日よけ
4	フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ "
4	シーリングワッシャ
4	ロックナット $\frac{1}{4}$ "

手順

重要ミラーキットを取り付ける場合は、日よけの取り付け前に取り付けてください。

前後の取り付けチューブに、日よけを固定するフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ " 4 本、シーリングワッシャ 4 枚、ロックナット $\frac{1}{4}$ " 4 個で図 15 のように取り付ける。

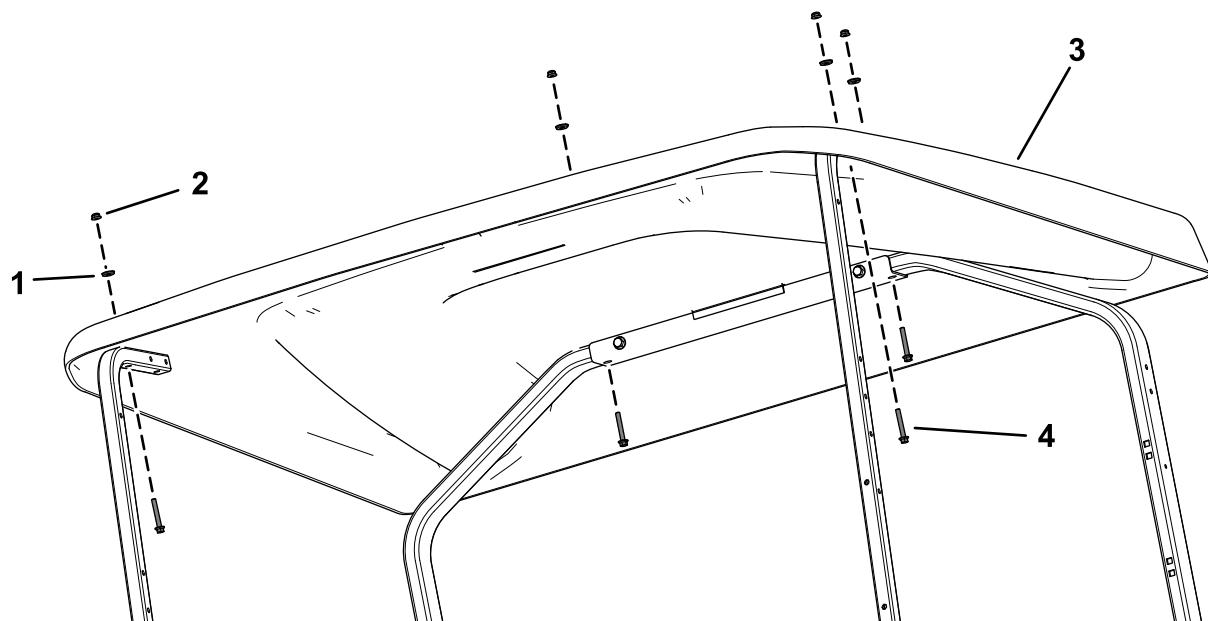


図 15
図は 2 人用日よけ

1. シーリングワッシャ
2. ロックナット $\frac{1}{4}$ "

3. 日よけ
4. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ "

10

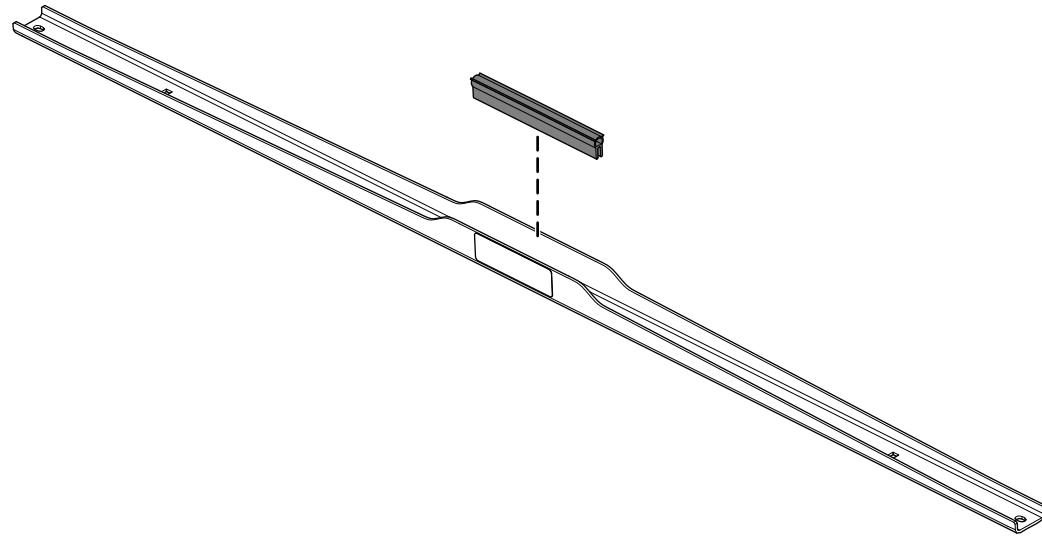
日よけサポートブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	日よけサポートブラケット
2	フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 2\frac{1}{4}$ "
2	ロックナット $\frac{1}{4}$ "
2	シーリングワッシャ
1	トリムシール
2	スペーサ $\frac{1}{4}$ "

手順

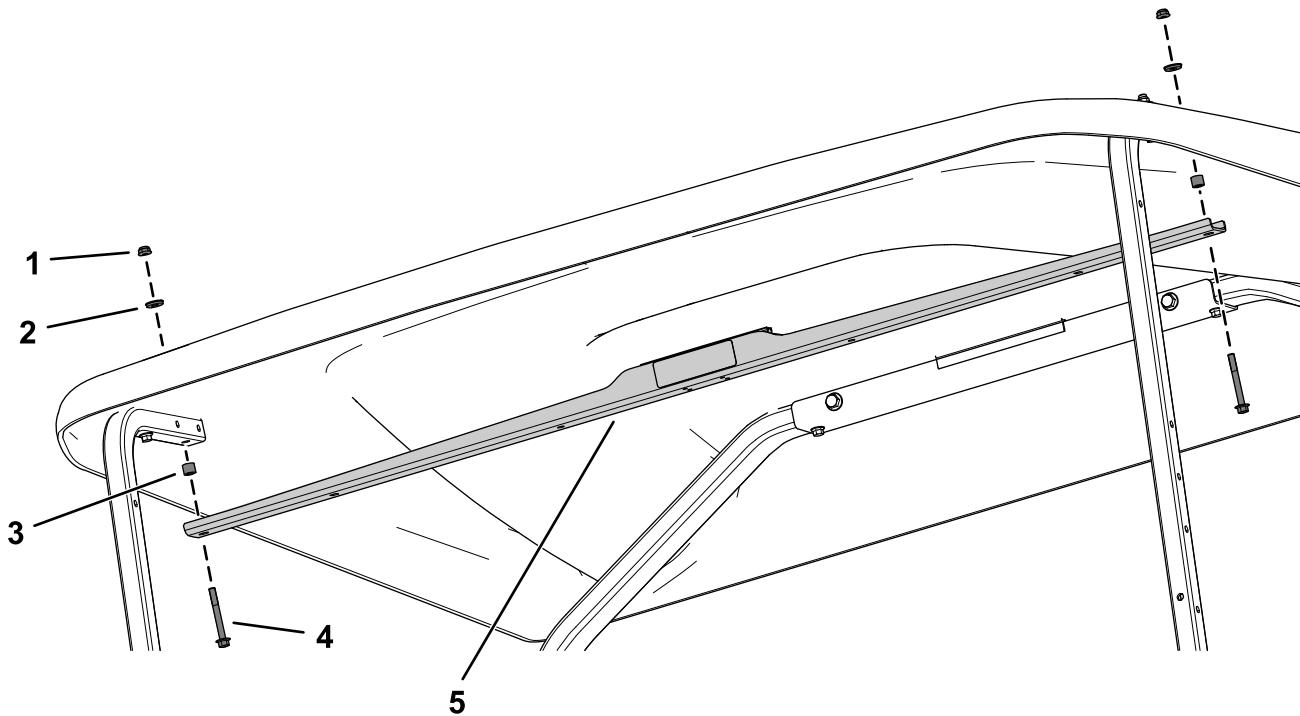
1. チューブ取り付けブラケットにトリムシールを取り付ける図 16。



g259845

図 16

2. 前側の取り付けチューブと日よけに、日よけサポートブラケットを固定するフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 2\frac{1}{4}$ "2本、スペーサ $\frac{1}{4}$ "2個、シーリングワッシャ2枚、ロックナット $\frac{1}{4}$ "2個で図17のように取り付ける。



g259846

図17
図は2人用日よけ

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. ロックナット $\frac{1}{4}$ " | 4. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 2\frac{1}{4}$ " |
| 2. シーリングワッシャ | 5. 日よけサポートブラケット |
| 3. スペーサ $\frac{1}{4}$ " | |

11

日よけサポートチューブを取り付ける

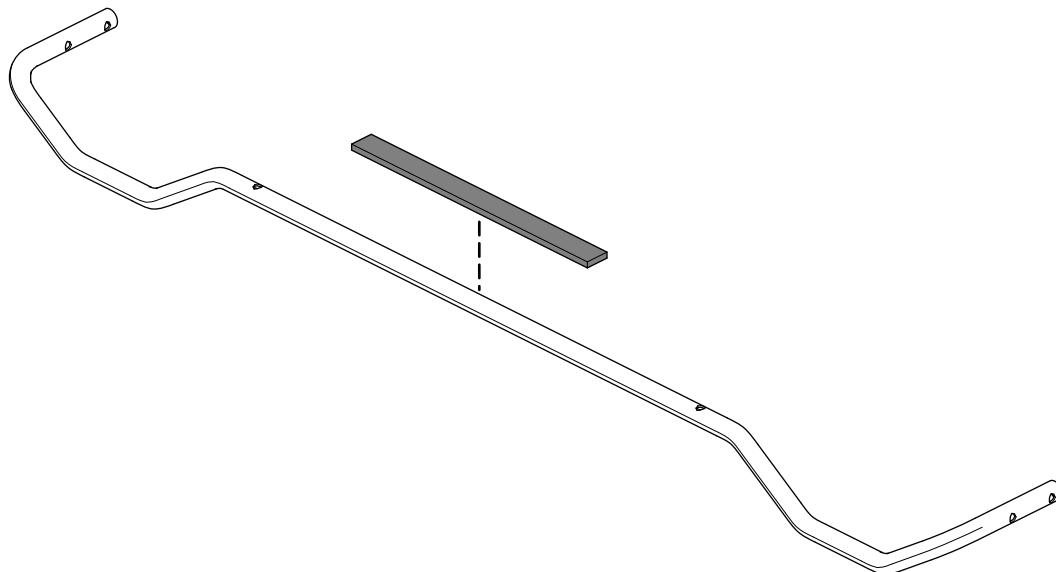
4人用の日よけの場合

この作業に必要なパーツ

1	日よけサポートチューブ
6	ロックナット $\frac{1}{4}$ "
2	シーリングワッシャ
2	フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{2}$ "
1	ウレタンパッド
4	フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{4}$ "

手順

1. 日よけサポートチューブにウレタンパッドを取り付ける図 18。



g261160

2. 長い日よけサポートブラケットに、日よけサポートを取り付けるフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{4}$ "4 本とフランジナット $\frac{1}{4}$ "で図 19 のように取り付ける。

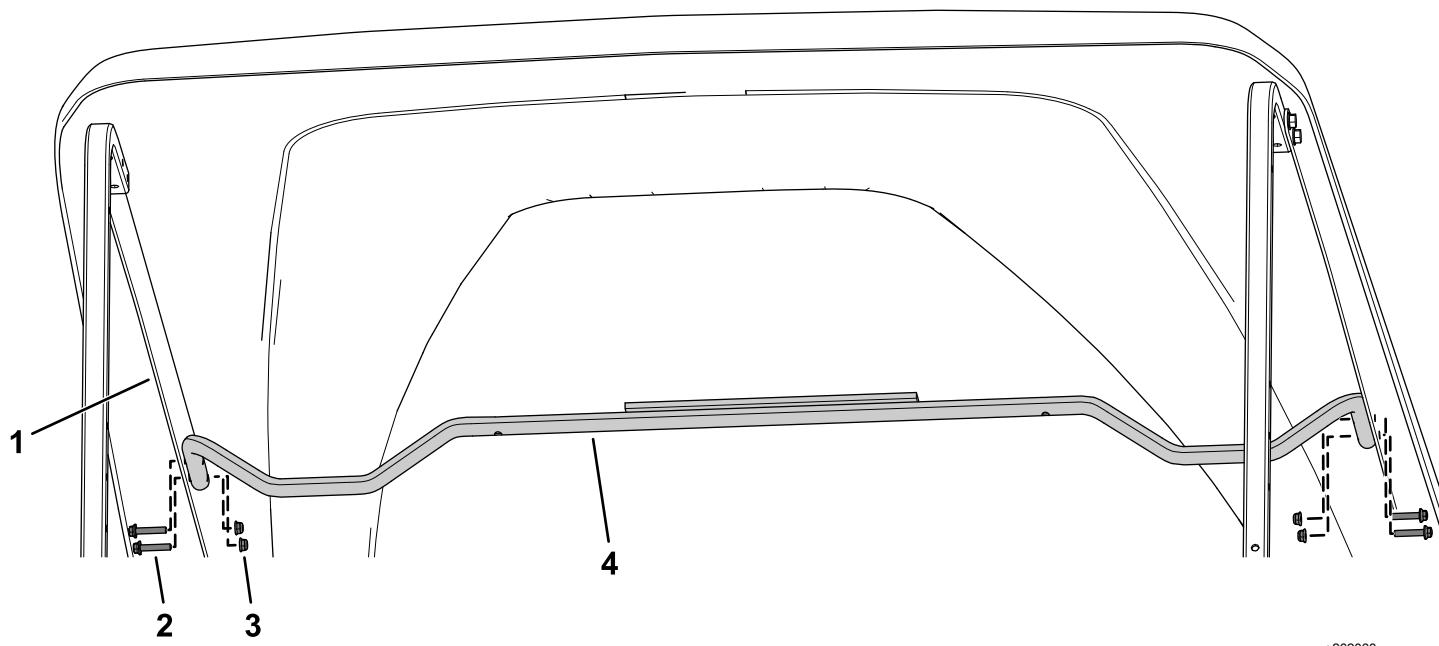


図 19

g262068

- 1. 長い日よけサポートブラケット
 - 2. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{4}$ "
 - 3. ロックナット $\frac{1}{4}$ "
 - 4. 日よけサポートチューブ
-
- 3. 日よけサポートチューブを型紙として使って、日よけに穴 6 mm を2つ開ける。
 - 4. 日よけサポートチューブを、日よけに固定するフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{2}$ "2 本、シーリングワッシャ 2 枚、ロックナット $\frac{1}{4}$ "2 個で図 20 のように取り付ける。

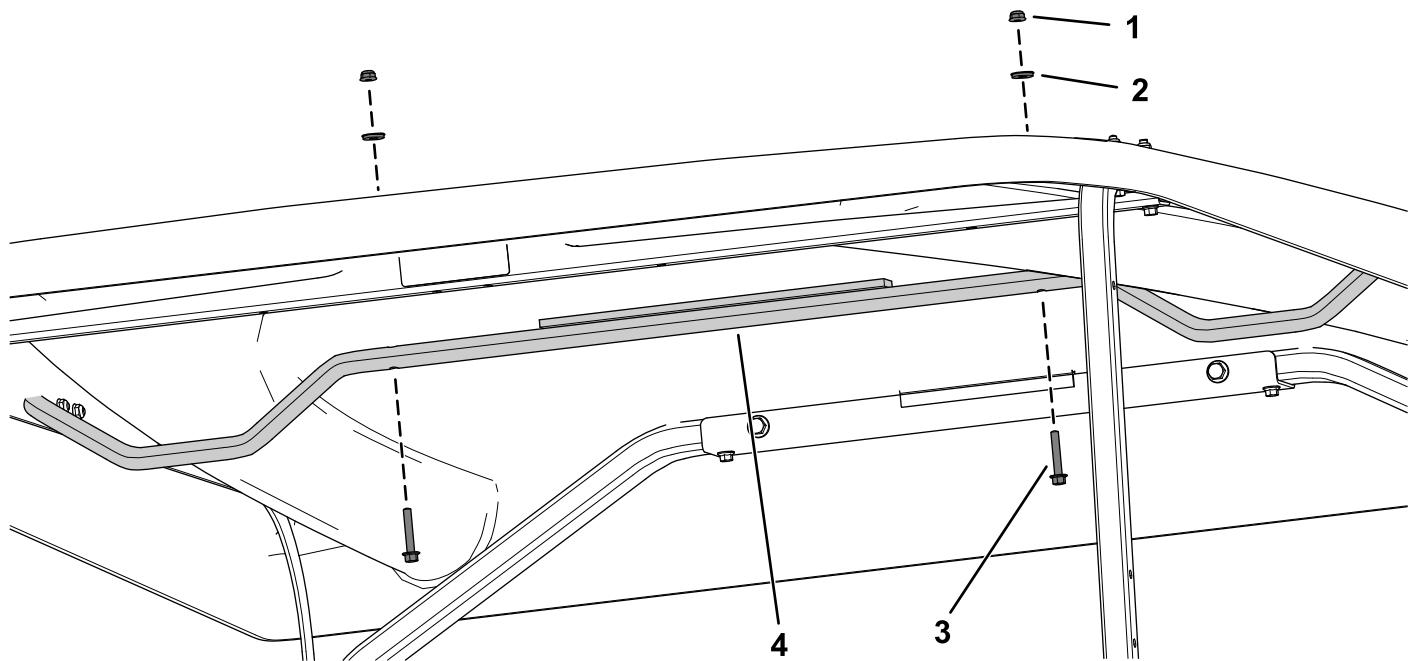


図 20

g261161

- 1. ロックナット $\frac{1}{4}$ "
- 2. シーリングワッシャ
- 3. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{2}$ "
- 4. 日よけサポートチューブ

メモ

メモ

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワンティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。

*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなくなったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department

Toro Warranty Company

8111 Lyndale Avenue South

Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740

E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびペーリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出来ることのできるエネルギーの総量 kWh が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額遞減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらにかかる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての默示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また默示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。